

令和6年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市武芸川福祉センター
-----	-------------

選定方法	公募	
------	----	--

外部評価

4	優れている
---	-------

コメント

・高齢者の利用が活発な様子が見え、引き続いて行われるとともに、若い世代の参加率が上昇されるよう努力されるとよい。 ・高齢者と子どもと一緒に楽しめる様子が見受けられ、幅広い年齢層を対象とした場を提供できている。 ・利用者数も増加しており、今後も利用者拡大が期待できる。
--

令和5年度 指定管理者モニタリング結果票

施設名	関市武芸川福祉センター
所在地	関市武芸川町八幡1537番地1
指定管理者	社会福祉法人 三輪会
担当部課	健康福祉部 福祉政策課
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）

1 総合評価

コロナ過が明けてから少しずつ利用者が回復し、これまで利用されてきた地域住民の集いの場所として通常通りの運営に戻ってきたように見受けられる。また、老人福祉センターから福祉センターへの位置づけに変更したことで、従来の老人に特化した事業だけではなく、子どもや子育て世代の拠点になるような事業計画や、指定管理者が実施する事業の発信方法にもSNS（Facebook）を活用するなど、運営方法にも工夫している点が確認できた。今後は、地域の集いの場に必要な利用者の声やターゲット層を抽出し、具体的な事業に反映していけるようなさらなる好循環を期待する。

2 合目的性・公平性・効果性（施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮）

施設の管理業務は、仕様書どおりに実施されている。センターを広く開放し、乳幼児（てらっこ）やDVD体操など高齢者の交流の場として提供することで、地域福祉活動の重要な拠点として位置づけられている。また、地域内巡回バスのバス停が施設内にあり、地域住民にとって利便性が高い施設となっている。

3 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

館内に貴重品保管用鍵付きロッカーを設置し、安心して施設等を利用できるように配慮されている。また、利用者拡大のためにSNS配信や新たなチラシを作成し、地域委員会や各自治会と協力してPRされている。新しい教室や活動を取り入れるよう、来場者の増加と満足度を高めるための努力と適正な運営が実施されている。

4 責任性・実効性（施設の運営体制・組織）

武芸川事務所や武芸川保健センター等、各種関係機関と連携を取りながら、利用者が安心して安全に利用できるよう円滑な運営に努められている。

5 安定性・安全性（管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応）

施設内の設備および各種運動器具やヘルストロン等は、定期的な保守点検を業務委託されるなど、安全管理については良好といえる。緊急時の利用者の安全確保については、年2回の消防訓練や災害時の誘導マニュアル整備などが実施されているため、今後も、継続して周知徹底を図られたい。また、玄関入口に感染等予防のための体温測定、手指消毒剤の設置を啓発されるなど、衛生管理にも配慮されている。

6 社会性・貢献性（地域への貢献、環境への配慮等）

ロコトレ体操・3B体操・歌声サークル・茶道・華道・パッチワーク・俳句・囲碁等各種教室及びサークル活動の場を提供したり、ミニコンサートや紙芝居、そば打ち体験、音楽リクレーション、作品展などの企画をし全世帯の方々の交流の拠点とし地域に貢献している。また、節電・節水に努められ、環境へも配慮されている。

7 効率性・経済性（経費の縮減と収入の増加対策）

資源のリサイクルに努め、利用者に対してもゴミの削減に協力していただくよう求めて経費削減を実施している。また、館内に「節電・節水」をお願いする文書を掲示し啓発されるとともに、事務所の冷暖房や電気も最小限にして光熱水費の縮減に努められている。

8 経営の健全性

年間の事業計画と予算を定め、計画的な施設運営に努められている。経費の削減を図りながら、限られた予算の中で計画的・効率的な運営に努められているが、設備の老朽化については、引き続き安全面に配慮するとともに、日頃の点検を強化し、対策の検討を継続する必要がある。

9 課題・業務改善への考え方

今後も、武芸川事務所や武芸川保健センター、そして武芸川地域委員会と連携し、武芸川地域の健康づくりや生きがい活動の拠点として、地域を巻き込みながら一層のサービス内容の充実を図られるよう期待する。また、団塊の世代が生活の拠点を地域に移し、長い老後を住み慣れた武芸川地域で豊かに暮らすことができるための交流の場のひとつとして、子どもからお年寄りまでの多様な世代が気軽に利用・交流できる施設にしていくことが今後の課題である。そのためにも、既存の利用者を維持しながら新たな利用者の拡大を図っていくためにも、地域内へのPR活動を継続して行いながら、更なる地域サービスの向上に努められたい。

過去3か年の運営状況

施 設 名	武芸川福祉センター
指定管理者	社会福祉法人 三輪会
担 当 部 署	福祉政策課

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		6,983	6,647	8,346
収入	収入額(円)	7,824,053	7,824,053	7,756,149
	うち市からの指定管理料(円)	7,824,000	7,824,000	7,756,100
	他の主な収入内容	指定管理料	指定管理料	指定管理料
	使用料の受入先	指定管理者		
	(どちらかに○)	市	○	
支出	支出額(円)	6,533,439	7,795,418	7,754,072
	主な支出内容	維持管理費	維持管理費	維持管理費
差引	差引(円)	1,290,614	28,635	2,077
	損益の処理方法	指定管理者	○	()
	(どちらかに○)	その他(具体的に)		
職員数	職員数(人)	3	2	2
	内パート等の人数(人)	2	1	1